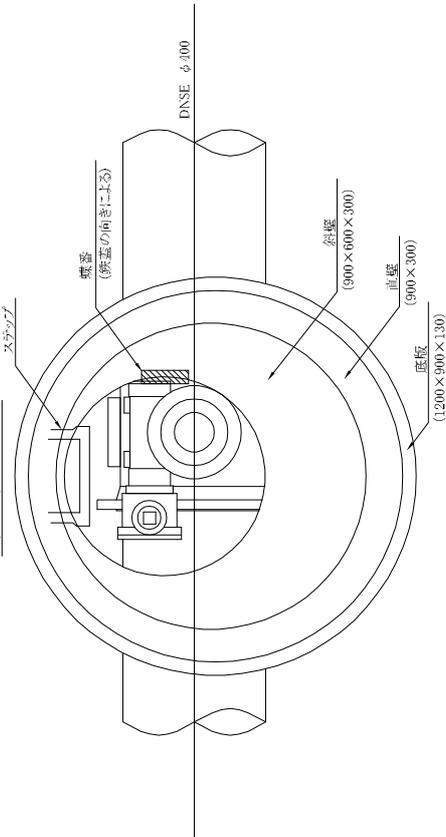


資料-3

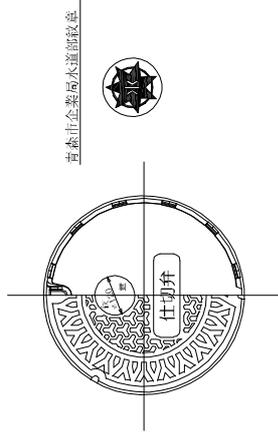
標準図集

仕切弁(バタフライ弁)防護柵図①

平面図



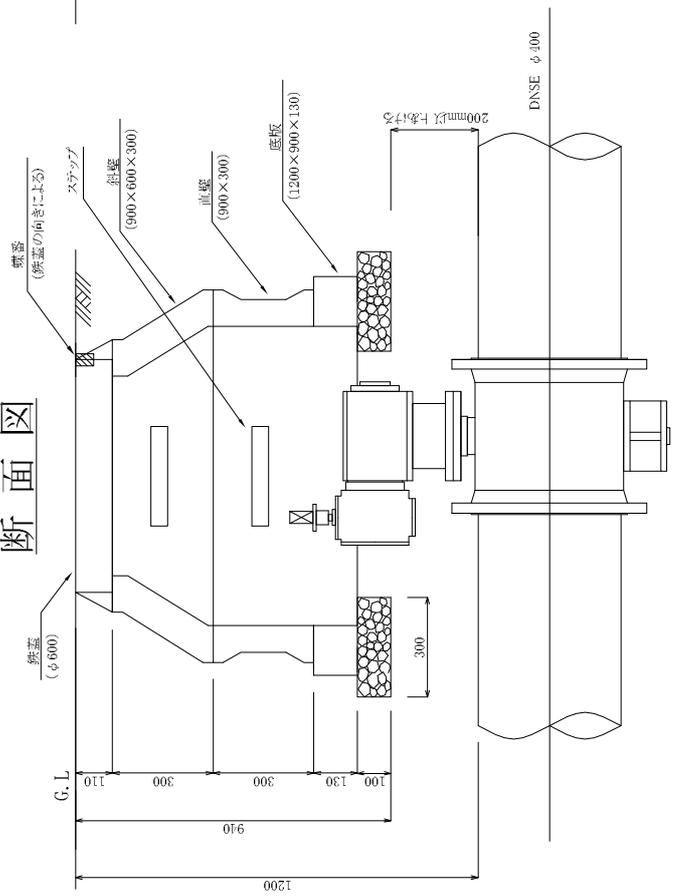
鉄蓋姿図(φ600)



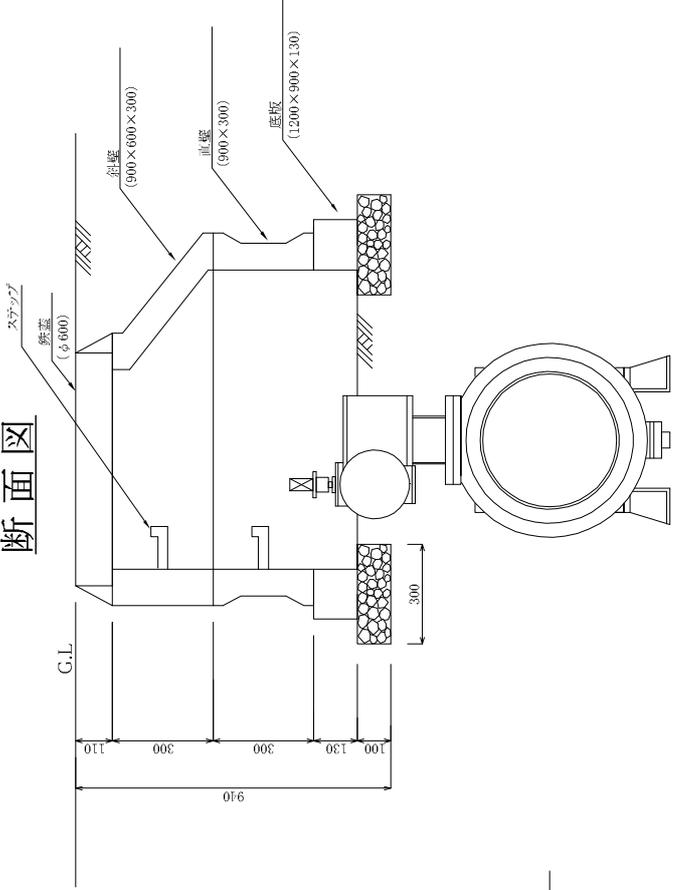
※鉄蓋の高さ調整が必要となった場合は、ボルトナットで高さを調整後、隙間を無収縮モルタルで充填すること。ただし、その方法について事前に監督員と協議すること。

※鉄蓋の向きは、車の進行方向に対し文字が正面となるように設置すること。

断面図

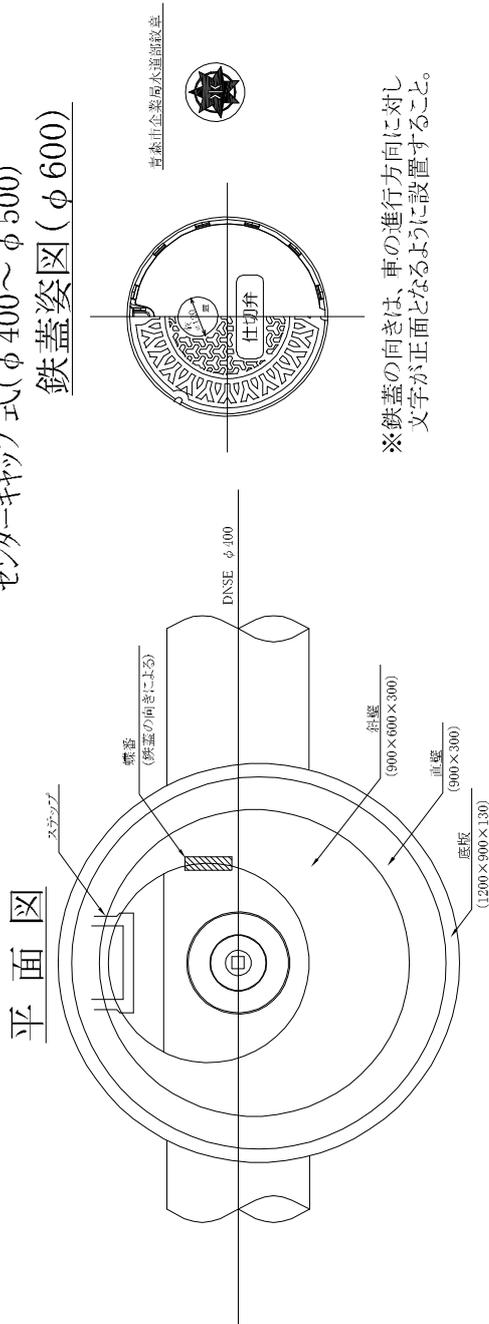


断面図



仕切弁(バタフライ弁)防護柵②

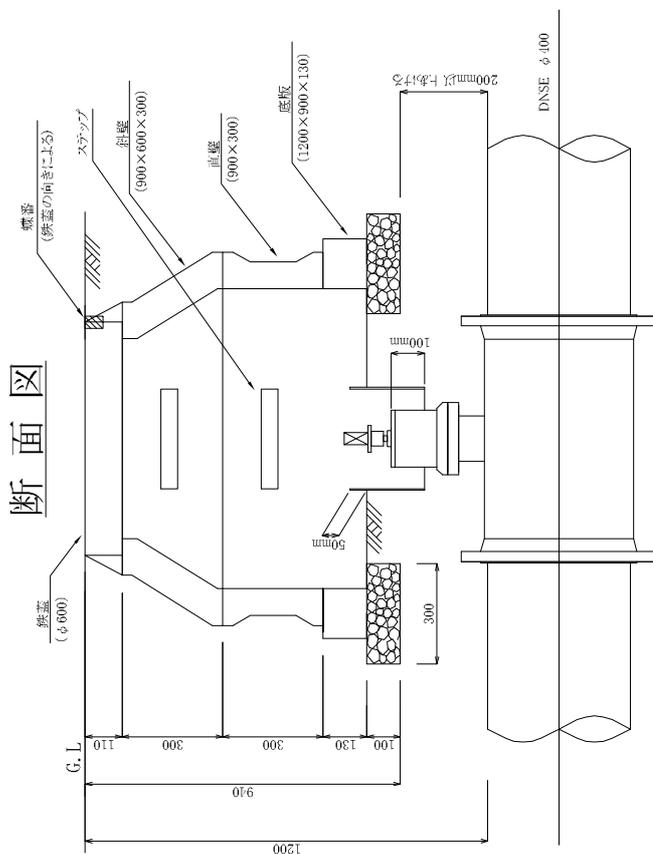
センターキャップ式(φ400～φ500)
鉄蓋姿図(φ600)



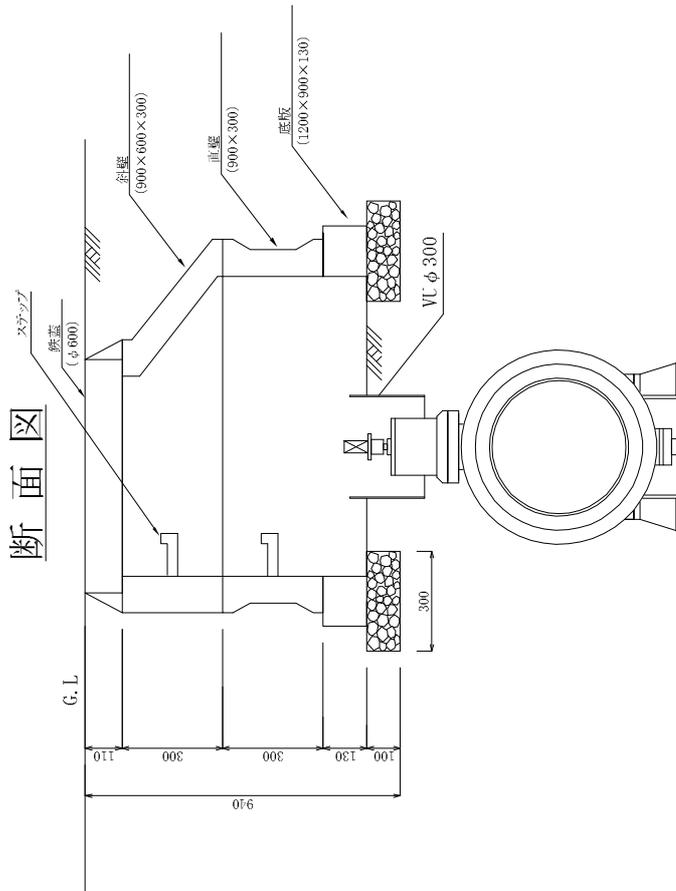
※鉄蓋の高さ調整が必要となった場合は、ボルトナットで高さを調整後、隙間を無収縮モルタルで充填すること。ただし、その方法について事前に監督員と協議すること。

※鉄蓋の向きは、車の進行方向に対し文字が正面となるように設置すること。

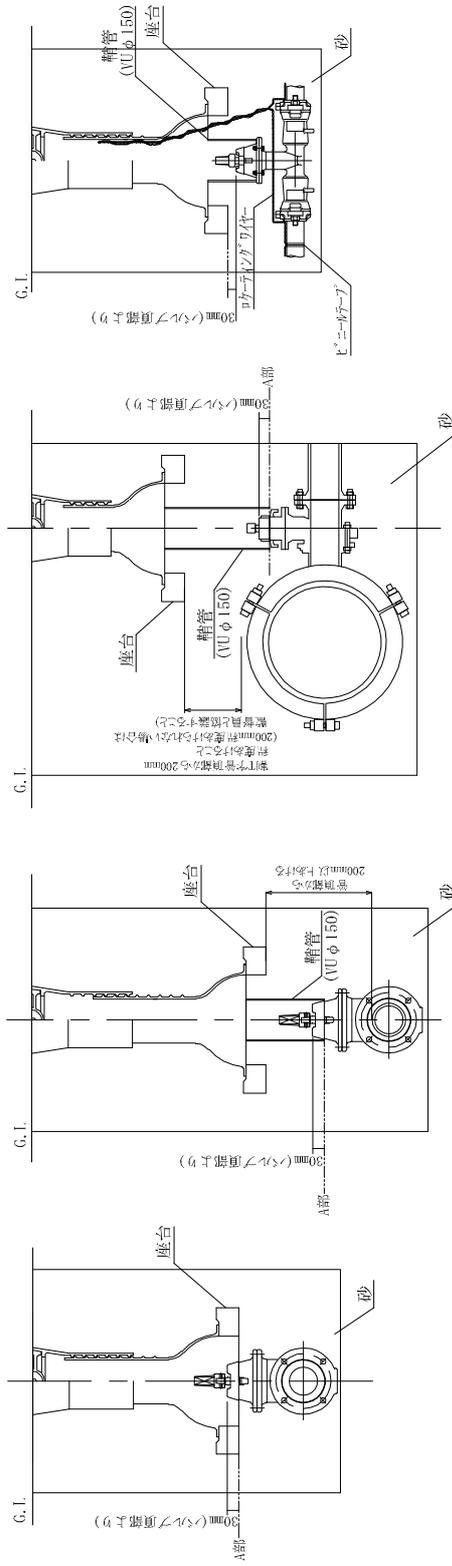
断面図



断面図



仕切弁筐座台設置図



【通常の場合】

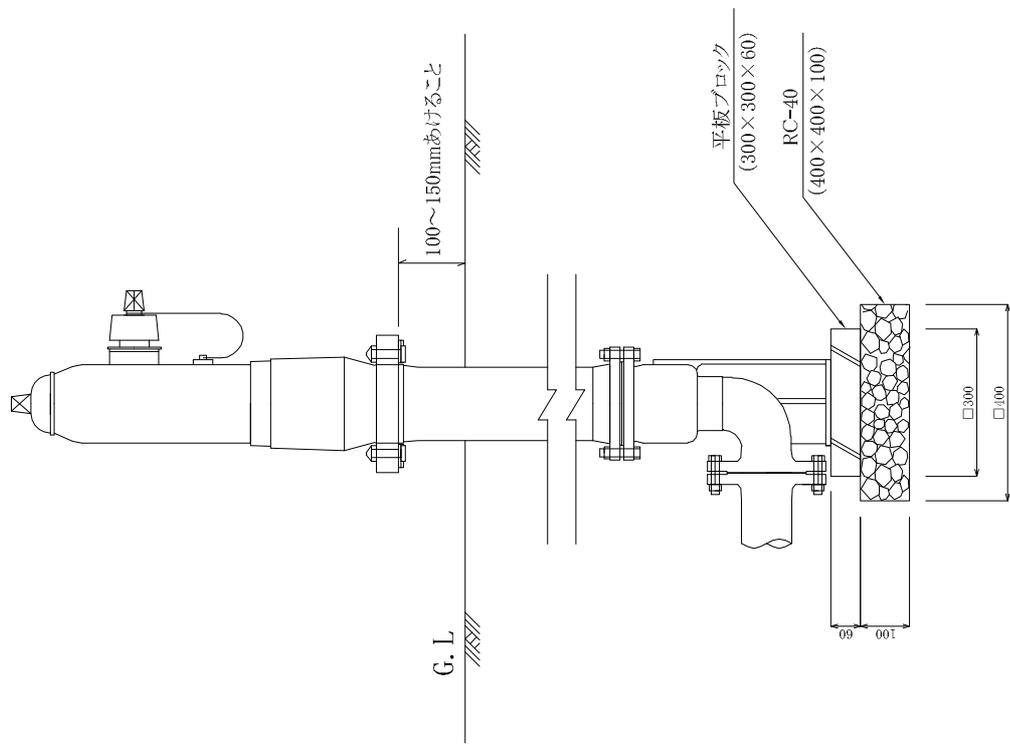
【埋設深が深い場合や割T字の場合】

【A部が分岐本管より深い場合】

【V-KING71 φ50の場合】

※ A部に座台または鞘管の下端をあわせるようにする。
 ただし、V-KING71 φ50の場合は、バルブ頂部より30mmの間隔をあけた位置に座台の下端をあわせること。
 ロケータイングロワイヤーは、ポリエチレン管用浸透防止スリーブの上にてニールテープで巻き、バルブ操作に支障がないように鞘管の外側を通して、たるみなく筐のチェーン接続部に結ぶこと。

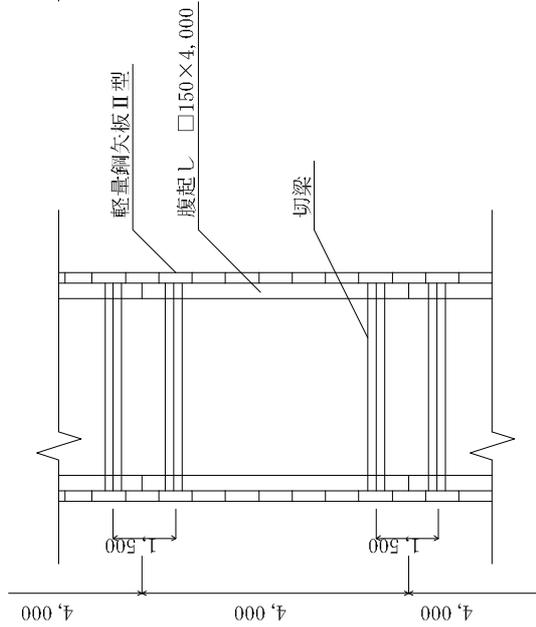
消火栓設置図



※消火栓の設置位置、放水口の向き及び副弁の位置は、監督員と協議すること。

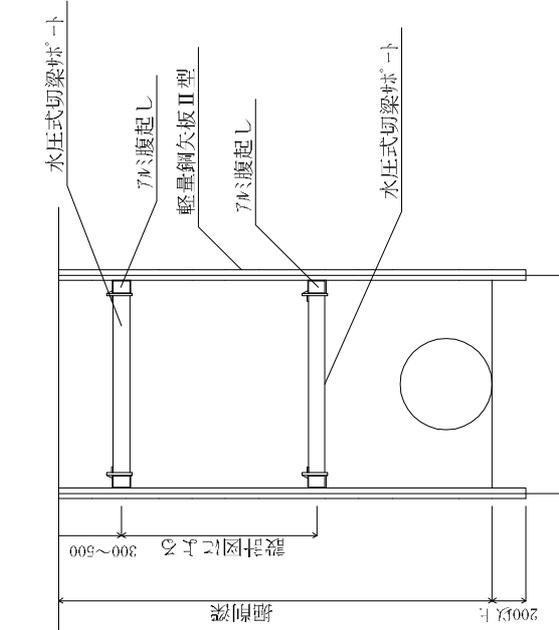
土留め標準図

平面図



断面図

(軽量鋼矢板)

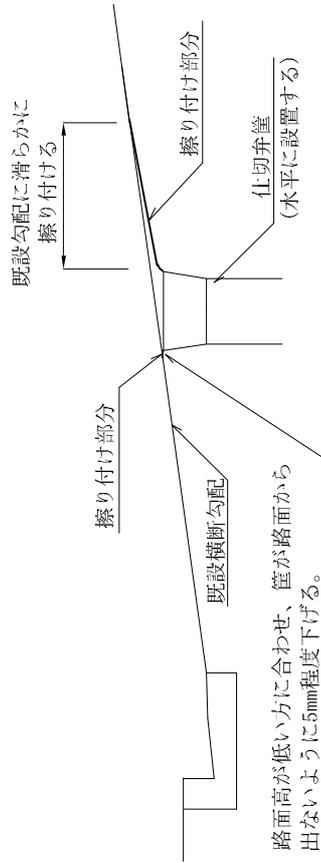


矢板種別	掘削深 (H)	7φ腹起し	段数	水圧式ポルト	水圧式ポルト
軽量鋼矢板II型	2.0m以下	110mm×130mm×4m	1	0.45m以上~2.10m未満	0.45m以上~2.10m未満
	3.5m以下	110mm×130mm×4m	2	0.45m以上~2.10m未満	0.45m以上~2.10m未満
	4.0m未満	110mm×130mm×4m	3	0.45m以上~2.10m未満	0.45m以上~2.10m未満

仕切弁舗装擦り付け参考図

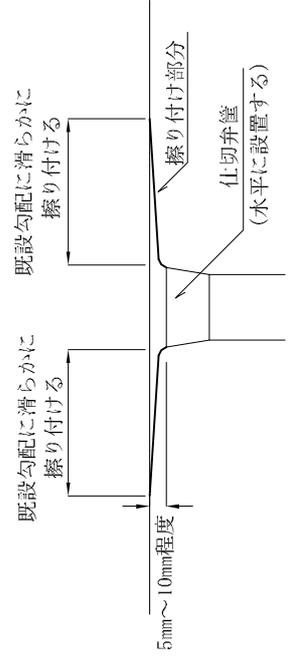
路面に傾斜がある場合

横断面図



路面に傾斜がない場合

横断面図



舗装復旧一般図

